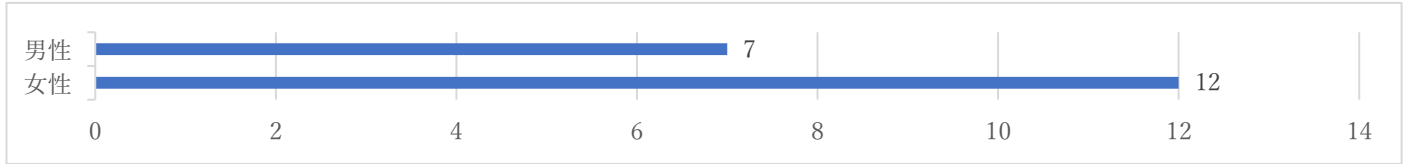


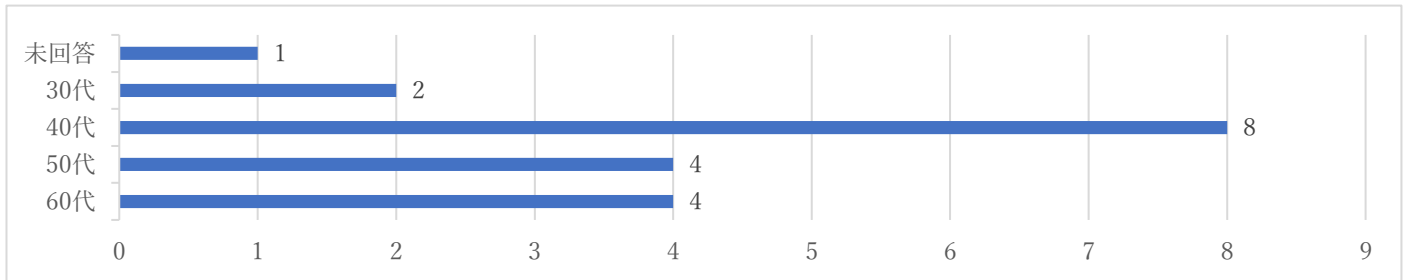
在宅医療医に関するアンケート集計結果（いせたま）

回答数 19名

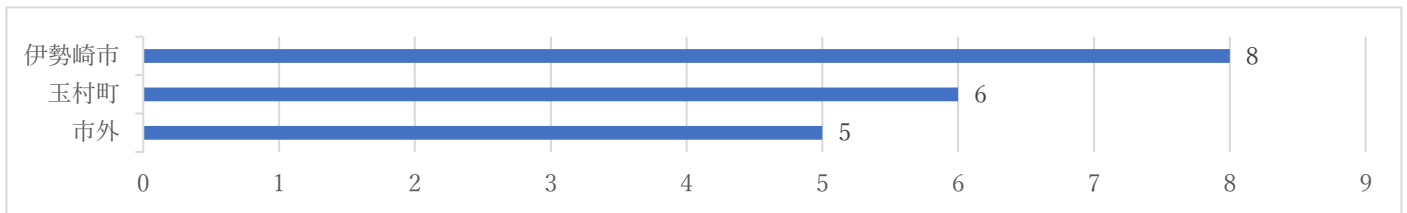
あなたの性別をお聞かせください？



あなたの年代をお聞かせください？

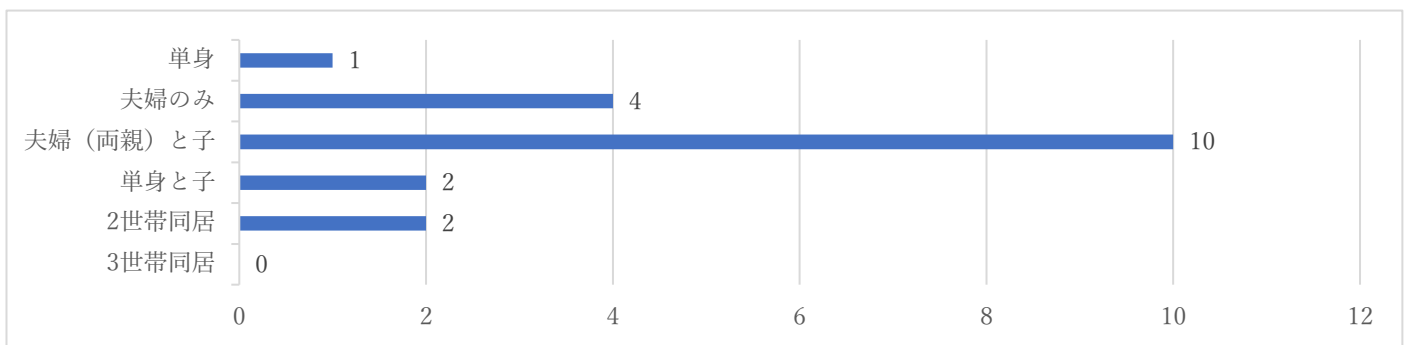


お住まいの地域をお聞かせください？

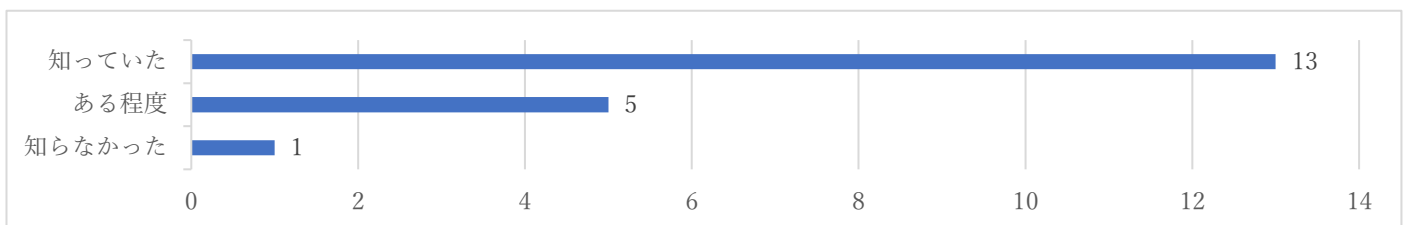


市外の内訳 前橋 2名・沼田 1名・水上 1名・県外1名

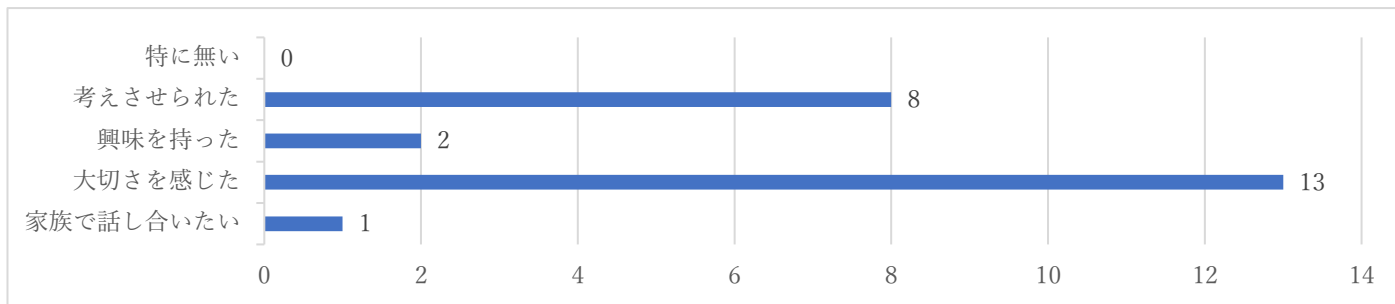
家族構成をお聞きかせください？



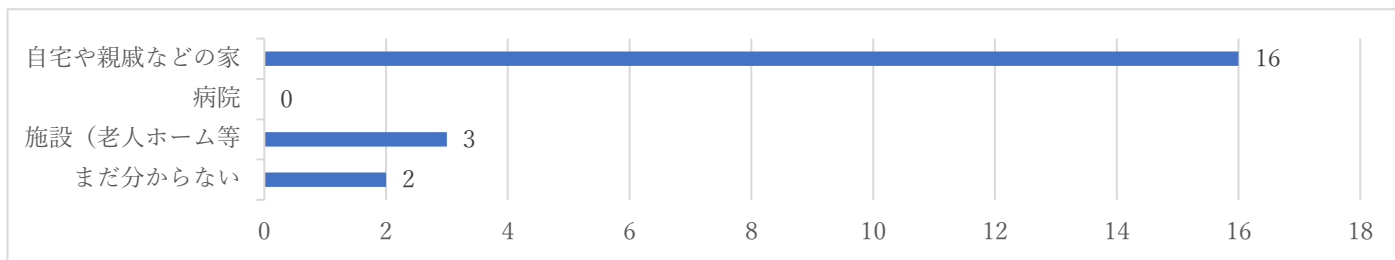
在宅医療や看取りをご存知ですか？



視聴後、在宅医療や看取りについてどう思われましたか？（重複回答有り）

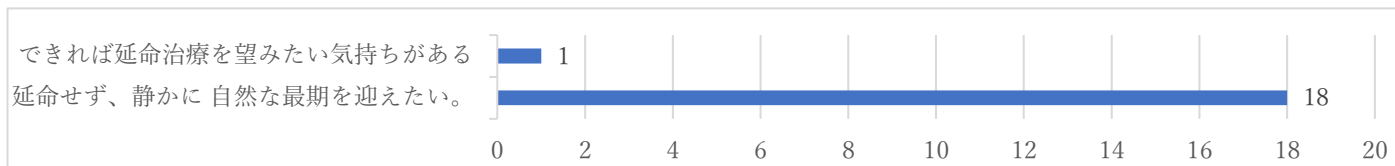


人生の最期をどこで迎えたいとお考えですか？（重複回答有り）



※その他の意見（家族の負担が少ない所・まだわからない）

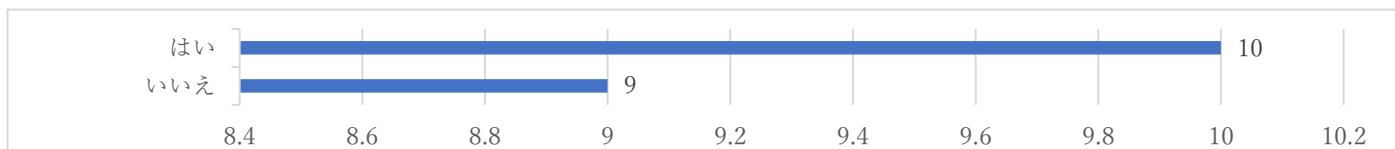
あなたは、どの様な最期を迎えたいですか？



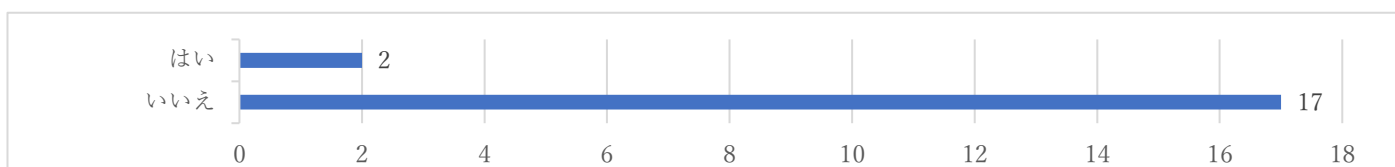
視聴前と視聴後で気持ちの変化はありましたか？



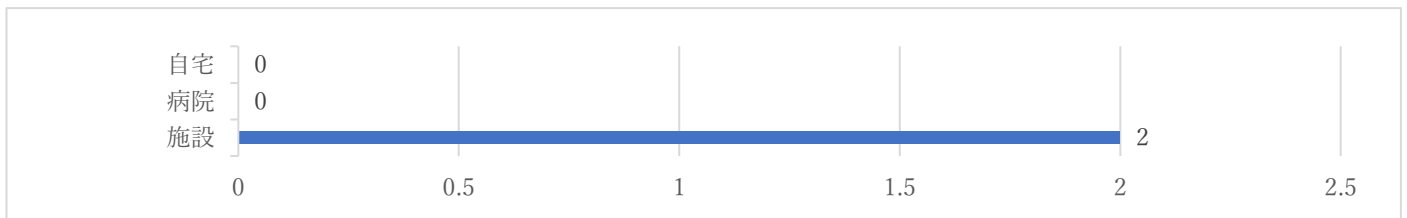
延命等についてご家族はご存知ですか？あるいは何らかの形で意思表示はしてありますか？



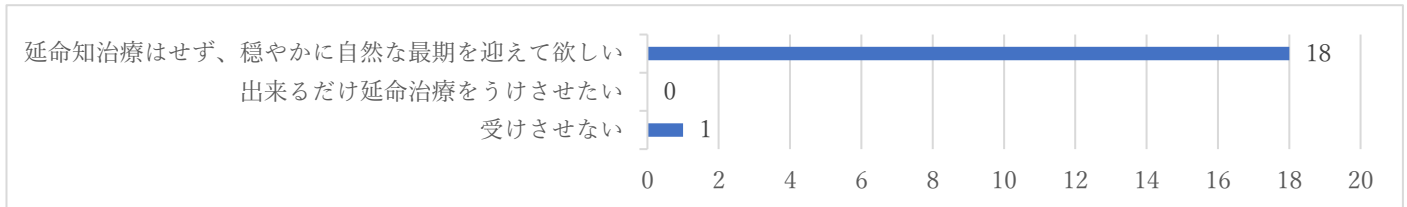
現在あなたは介護をなされていますか？



「はい」の方に聞きします、介護の場所はどこですか？



大切なご家族が延命治療の効果が見込まれない場合、人生の最期をどの様に迎えて欲しいとお考えですか？



※その他の意見（本人の希望に任せたい）

最後に、今後市民公開講座で取り上げて欲しいテーマや、その他ご意見等ございましたらお聞かせください。

- ・今回はWeb形式での使用であったため、深夜に自宅にて公開講座を受講することができ、時間の取れない者にとっては大変ありがたく感じました。
今後も受講を受け易い環境をよろしくお願いいたします。(50代 男性)
- ・在宅医療や在宅介護
知らないがために、漠然とした不安やマイナスイメージを抱えている人が沢山いると思います。
知っていただくことで、もっとオープンに相談しあったり、支援を求めたりすることができるようになると思います。今回の映画のように、一般の人にも分かりやすく、共感、感動できる作品を観ていただくことは、とても効果的な取り組みだと思います。(40代 女性)
- ・介護する者・される者にとって、リビングウィルが大切であること。(50代 女性)
- ・ACPについて(40代 女性)
- ・コロナにて集合型の住民向け企画が難しいため、いろいろと悩まれたことと思います。
せっかくの企画を委託元の行政の方々と上手く宣伝し、100名を超える参加者が得られたことは次年度につながる大きな収穫であったと思います(40代 男性)。
- ・病院やデイサービスに行きたがらない人をどうしたら行かせられるか。(60代 女性)
- ・貴重な機会を頂き有難うございました。この様な看取りが出来たら理想的だと思いました。医療と介護の垣根を越えて連携をはかり、理想の看取りが可能となるよう尽力していきたいと思います。(40代 女性)
- ・在宅医療の大切さと多職種連携の重要性を知りました。医療と介護のつながりも大事だと考えさせられました。
映画を見る前は難しい内容なのかと思いましたが、実際に見ると分かりやすく、在宅医療は？との疑問に答えられる内容だと思いました。(30代 女性)
- ・次回も希望したい(60代 女性)
- ・在宅医療の大切さについて再確認できました。仕事でもこの気持ちを大切にしたいです、ありがとうございました。(40代 女性)
- ・伊勢崎市内でどの病院が在宅医療をしているか気になります。今42才ですが80代になった時、医療はどうなっているか気になります。
- ・医療ソーシャルワーカーの必要性。在宅での看取りの調整を行っている中で、今回の動画を見て今後も家族、本人のニーズを大切に動いていきたいと思いました。